

## 第5回 運営推進会議資料

日 時：平成30年9月8日(土) 11:00～12:00

場 所：デイサービスセンターみのり

### 1、施設長挨拶

デイサービスセンターみのり

### 2、参加者の自己紹介

### 3、施設概要

### 4、利用登録状況

### 5、行事・レク・研修・会議の実施報告

### 6、ヒヤリハット・事故及び苦情報告

### 7、やましな認知症サポート連絡会での活動内容

### 8、意見交換と評価(感想)

### 9、閉会

1) 第5回デイサービスセンターみのり運営推進会議の開催についての挨拶

2) 会議出席者

【運営推進会議委員】

ご家族代表 1名

大宅学区民生児童委員協議会 1名

大宅地域包括支援センター 1名

【デイサービスセンターみのり関係者】

管理者 1名

介護職員 1名

3) 施設概要

平成30年9月現在

名称	デイサービスセンターみのり
所在地	京都市山科区大宅烏井脇町3番地
開設年月日	平成23年8月8日
サービスの種類	地域密着型通所介護・介護予防型デイサービス
一日の利用定員	10名
対応地域	京都市内（山科区、伏見区醍醐）
提供日	月 火 水 木 金 （12月29日から1月3日は休み）
営業時間	8:30～17:30
提供時間	9:15～16:20
職員	管理者（兼務1名） 生活相談員（兼務2名） 介護職員（兼務1名 専任6名） 機能訓練指導員（兼務1名） 経験年数（10年以上4名、5年以上3名、3年以上1名）
資格	社会福祉主事（1名） 介護福祉士（5名） 介護支援専門員（1名） 柔道整復師（1名） その他ヘルパー2級以上（3名） ※資格は重複しています。
情報の公表方法	ホームページ、パンフレット、区役所提出 等

4) 利用登録者概要

平成30年9月現在

登録者数	19名
介護度別登録者数	要介護1（4名）要介護2（7名）要介護3（4名） 要介護4（2名）要介護5（1名）
	要支援（1名）
登録状況	月（10名）火（7名）水（9名）木（7名）金（9名）
平均年齢	80.9歳

前年同時期(平成29年9月)

登録者数	15名
介護度別登録者数	要介護1(4名) 要介護2(6名) 要介護3(2名) 要介護4(1名) 要介護5(1名)
	要支援(1名)
登録状況	月(8名) 火(5名) 水(8名) 木(4名) 金(9名)
平均年齢	80.5歳

5) 行事・レクリエーション・研修・会議の実施報告

【誕生日会実施状況】

4月	2名
5月	0名
6月	2名
7月	2名
8月	2名
9月	0名

内 容：誕生日ケーキ、記念撮影と寄せ書きの色紙プレゼント

【行事实施状況】

- 4月 花見(平安神宮周辺ドライブ、記念撮影)  
8月 夏祭り(金魚すく、射的、ビンゴ大会、たこやき、かき氷、記念撮影等)

【研修報告】

- 4月 介護におけるコミュニケーションの基本
- ・介護におけるコミュニケーションで大切なこと
  - ・3つの基本～聞き上手になるために～
  - ・4つのコミュニケーション技術
- 6月 疾患別機能訓練研修
- ・運動解剖学の基礎を知る
  - ・疾患別運動障害の特徴と疾患に対応した機能訓練方法
- 8月 若年性認知症
- ・認知症に関する知識
  - ・制度
  - ・連携の仕組み
  - ・支援事例

【会議報告】

※毎月の月例会議と定例会議の実施

### 3月 満足度検討会議

#### 【満足度調査結果】

- ・年2回の満足度調査を実施しています。
  - ・男性4名 女性9名 計13名実施（入院等の欠席者を除く）
- | 〔調査内容                 | 満足  | 普通 | 不満足 |
|-----------------------|-----|----|-----|
| 1. ご利用内容 . . . . .    | 12名 | 1名 |     |
| 2. 食事内容 . . . . .     | 13名 |    |     |
| 3. 送迎 . . . . .       | 13名 |    |     |
| 4. 入浴 . . . . .       | 13名 |    |     |
| 5. 機能訓練 . . . . .     | 12名 | 1名 |     |
| 6. レクリエーション . . . . . | 13名 |    |     |
| 7. 喫茶 . . . . .       | 13名 |    |     |
| 8. 職員対応 . . . . .     | 13名 |    |     |

#### 〈アンケートの回答〉

- ・機能訓練内容に対する回答では、「右手が不自由なので」とのことでした。
- #### 〈右手の状態と機能訓練内容について〉
- ・右手の麻痺によりサービスが開始された時の状況は、90度以上の挙上不能で常に三角巾を使用されていた。
  - ・関節可動域訓練と筋力強化訓練を行い、約半年程度で挙上可能な状態まで回復されている。現在、日常生活レベルまで回復しているが、ご本人としては違和感がありもつと機能の向上を目指されている様である。

#### 〈ご利用について〉

- ・内容が満足ではなく普通との回答を頂き、今後満足頂いている他の利用者様も含め、ご意見やご要望を聞き取り、満足して頂けるようにサービスの向上を目指して行く。

#### 〈その他〉

- ・ご意見で「送り迎えに大変助かっています。ありがとうございます。」との回答あり。

### 5月 理念・倫理規定の点検見直し（再承認）

### 6月 マニュアル検討会議

- ・各職員から日常業務を聞き取り、マニュアルについての意見交換実施

### 7月 事業所全体のサービス検討会議

- ・山科認知症サポート連絡会参加について
- ・連絡会を理解する
- ・事業所の関わり方

### 8月 事故発生・防止・権利擁護会議

### 8月 業務改善会議

### 6) 【事故報告・ヒヤリハット及び苦情報告】

- ・ 8月：ヒヤリハット1件（見守りなく送迎者へ乗り込まれた）  
※お帰りの時、靴を履き替えられていた利用者様を介助中、気が短い他の利用者様に声を掛けられ対応した際に、靴を履いて車に飛び乗られた。  
※出来るだけ些細なヒヤリハットも気づいたら残すようにしていましたが今回は、この一件のみとなっております。

#### 【苦情報告】

- ・今回は、苦情の相談はありませんでした。

#### 7) やましな認知症サポート連絡会での活動内容

##### ① 山科認知症サポート連絡会（山サポ）を理解する

- ・認知症を抱える方やそのご家族を支えるために、南区の介護事業所が任意に設立した活動です。
- ・現在、南区と山科区が活動をしており、昨年から当事業所も参加しています。
- ・組織としては、各圏域の地域包括支援センターが代表を務め、圏域ごとで選出された事業所がコアメンバーとして共に活動内容や予算などの執行を行っている。
- ・当事業所は、本年度よりコアメンバーとして活動を行っています。
- ・現在、山科区の介護事業所の多くが参加し活動に協力している。

〈主な取り組み〉

1. 認知症あんしん窓口の設置
2. 認知症の啓発を目的にした各種イベント
3. 認知症の理解の推進のための認知症サポート講座の開催
4. 認知症高齢者の行方不明時の連携

##### ② 事業所の関り方

- ・当事業所の役割や何が出来るかを検討し協力を行う。
- ・現在、コアメンバーであるため、①～④の全てに関りを持つことになるが、今年は、イベント班として活動を行っている。  
また、認知症高齢者の行方不明連携に関しては、全事業所が常時連携を取り合って捜索を行う事になっている。
- ・10月に開催予定の山サポ祭りでは、ゲーム担当となっているので、当日時間が取れる職員は、ボランティアとして参加協力を依頼している。

#### 8) 意見交換と評価(感想)

- ・報告内容についての評価
- ・デイサービス運営についての質問や要望など

大宅包括：満足度調査を個別に聞き取りされているとの事ですが、回収率は100%でしょうか。また、担当者は決めておられるのでしょうか。

管理者：利用者様の登録数が少ないので、時間はかかりますが入院などで休まれている方以外は、全員聞き取りをしております。

担当者は2名で手分けして行っております。

大宅包括：当事業所では、約200名の利用者様に手紙を送っているのですが、返信が来るのは、60～70%程度です。

民生員：山サポの活動で、行方不明時はどこが中心になって情報を流すのですか、民生員は、協力することは出来るのでしょうか。また、行方不明の方は多いのでしょうか。

大宅包括：京都市から連絡が入り各圏域の包括がメールやFAXでサービス事業所などに情報を共有しています。

何か問題が発生した時は警察や行政が動きます。

行方不明のメールやFAXは毎日のように届いています。

この先、民生員や老人福祉なども協力できるようになれば、取り組みの輪も広がると思いますが、組織関係が難しいのです。例えば、大宅民生は老人社会福祉協議会と繋がりがありますが、他は繋がりが無いので難しいところもあります。

民生員：行方不明の方を発見した場合の対応はどうしたらよいのでしょうか。

大宅包括：もし、行方不明と思われる方を見つけたら、間違ってもかまわないので直接警察に連絡をして頂きたいと思います。

民生員：今まで大丈夫であった方で、最近心配な方がおられるのですが何か良い方法はありませんか。

大宅包括：本人の同意があれば、登録することが出来るので、登録をすれば包括や警察が協力してくれます。

山サポでは、QRコードを使った「かえるキーホルダー」を製作中です。

QRコードを読み取ると連絡が行くようになっています。

・次回31年3月予定の第6回運営推進会議の出席確認・連絡方法等

管理者：次回の運営推進会議の予定と、出席者の確認を行い、同じメンバーで行う事を確認する。

全員一致で同意を受ける。

## 9) 閉会の挨拶

管理者：今回の運営推進会議の出席及び協力に感謝し、閉会のあいさつを行い閉会した。